

Criterion A Analysing 分析

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
1 to 2	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	1 to 2
	i. テキストの重要な側面について最小限の認識と意見を示す	i. 内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)について	i. 内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)について	i. テキストの内容、文脈、言語、構造、技法、スタイル(文体)と、複数のテキスト間の関係性	
	ii. 作者の選択に関して最小限の認識と意見を示す	ii. 作者の選択が受け手に与える効果について最小限の特定と説明	ii. 作者の選択が受け手に与える効果について最小限の特定と説明	ii. 作者の選択が受け手に与える効果について限定的な分析を行う	
	iii. 例や説明を用いて意見や考えの理由を述べるのがまれにしかない。用語をほとんど/全く用	iii. 例や説明を用いて意見や考えの理由を述べるのはまれにしかない。用語をほとんど/全く用	iii. 例や説明を用いて意見や考えの理由を述べるのはまれにしかない。用語をほとんど/全く用	iii. 例や説明を用いて意見や考えの理由を述べるのがまれにしかない。ほとんど/全く用語を用	
	iv. テキスト内および複数のテキスト間で特徴の類似点や相違点をほとんど特定しない	iv. ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点を解釈することはまれにしかない	iv. ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点を解釈することはまれにしかない	iv. ジャンルやテキスト内、または複数のジャンルやテキストにわたって最小限の範囲で関連づけることにより、評価する類似点	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
3 to 4	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	3 to 4
	i. テキストの重要な側面に関してまずまずの認識と意見を示す	i. 内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)に関する特定や説明をまずまず行い	i. 内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)に関する特定や説明をまずまず行い	i. テキストの内容、文脈、言語、構造、技法、スタイル(文体)と、複数のテキスト間の関係性	
	ii. 作者の選択に関してまずまずの認識と意見を示す	ii. 作者の選択が受け手に与える効果についてまずまずの特定や説明	ii. 作者の選択が受け手に与える効果についてまずまずの特定や説明	ii. 作者の選択が受け手に与える効果についてまずまずの分析を行う	
	iii. 一貫性がないかもしれないが、いくつかの例や説明を用いて意見や考えの理由を述べる。いくつかの用	iii. 一貫性はないものの、いくつかの例や説明を用いて意見や考えの理由を述べる。いくつかの用	iii. 一貫性はないものの、いくつかの例や説明を用いて意見や考えの理由を述べる。いくつかの用	iii. 一貫性はないものの、いくつかの例や説明を用いて意見や考えを正当化する。いくつかの用語	
	iv. テキスト内および複数のテキスト間で特徴の類似点や相違点をいくつか特定する	iv. ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点をある程度説明する	iv. ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点をある程度説明する	iv. ジャンルやテキスト内、または複数のジャンルやテキストにわたって特徴を特徴をまずまず関連づける関連づけることにより、	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
5 to 6	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	5 to 6
	i. テキストの重要な側面に関して内容のある認識と意見を示す	i. 内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)について内容のある特定と説明を行	i. 内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)について内容のある特定と説明を行	i. テキストの内容、文脈、言語、構造、技法、テキストのスタイル(文体)と、複数のテキスト	
	ii. 作者の選択に関して内容のある認識と意見を示す	ii. 作者の選択が受け手に与える効果について内容のある特	ii. 作者の選択が受け手に与える効果について内容のある特	ii. 作者の選択が受け手に与える効果を適切に分析する	
	iii. 例や説明を用いて意見や考えを十分に正当化する。正確な用語	iii. 例や説明を用いて意見や考えを十分に正当化する。正確な用語	iii. 例や説明を用いて意見や考えを十分に正当化する。正確な用語	iii. 例や説明を用いて意見や考えを十分に正当化する。正確な用語	
	iv. テキスト内および複数のテキスト間で特徴の類似点や相違点をいくつか説明する	iv. ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点を適切に	iv. ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点を適切に	iv. ジャンルやテキスト内、または複数のジャンルやテキストにわたって、内容のある特徴の関連	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
7 to 8	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	7 to 8
	i. テキストの重要な側面に関して鋭い認識と意見を示す	i. 内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)について鋭い特定と説明を行い、ま	i. 内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)について鋭い特定と説明を行い、ま	i. テキストの内容、文脈、言語、構造、技法、スタイル(文体)と、複数のテキスト間の関係性	
	ii. 作者の選択に関して鋭い認識と	ii. 作者の選択が受け手に与える効	ii. 作者の選択が受け手に与える効	ii. 作者の選択が受け手に与える効	
	iii. 広範な例や説明によって、意見や考えを詳細に正当化する。正確な用語を用いる	iii. 広範な例や説明を用いて意見や考えの理由を詳細に説明する。正確な用語を用いる	iii. 広範な例や説明を用いて意見や考えの理由を詳細に説明する。正確な用語を用いる	iii. 広範な例や説明を用いて意見や考えを詳細に正当化する。正確な用語を用いる	
	iv. テキスト内および複数のテキスト間で特徴を比較・対比する	iv. ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点を鋭く比	iv. ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点を鋭く比	iv. ジャンルやテキスト内、または複数のジャンルやテキストにわたって特徴の広範な関連づけを	

Criterion B Organizing 構成

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
1 to 2	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	1 to 2
	i. 組織的構造の使用は最小限であり、また、それが常に文脈と意図に	i. 組織的構造の使用は最小限で、それが常に文脈と意図に	i. 組織的構造の使用は最小限で、それが常に文脈と意図に	i. 組織的構造の使用は最小限で、それが常に文脈と意図に	
	ii. 意見や考えを、最低限度の論理を用いて整理する	ii. 意見や考えを、最小限の一貫性と論理で整理する	ii. 意見や考えを、最小限の一貫性と論理で整理する	ii. 意見や考えを、最小限の一貫性と論理で整理する	
	iii. 執筆のフォーマットの利用は最小限であり、また、それが必ずしも文脈や意図に適している体	iii. 執筆のフォーマットを最小限利用し、それが必ずしも文脈と意図に適した体裁を作成している	iii. 執筆のフォーマットを最小限利用し、それが必ずしも文脈と意図に適した体裁を作成している	iii. 執筆のフォーマットを最小限利用し、それが必ずしも文脈と意図に適した体裁を作成している	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
3 to 4	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	3 to 4
	i. 文脈や意図に応じた組織的構造をますますの程度使用する	i. 文脈と意図に役立つ組織的構造を適切に利用する	i. 文脈と意図に役立つ組織的構造を適切に利用する	i. 文脈と意図に応じた組織的構造をますます使用する	
	ii. 意見や考えを、ある程度の論理を用いて整理する	ii. 意見や考えを、ある程度の一貫性と論理で整理する	ii. 意見や考えを、ある程度の一貫性と論理で整理する	ii. 意見や考えを、ある程度の一貫性と論理で整理する	
	iii. 執筆のフォーマットをますますの程度利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットを適切に利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットを適切に利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットをますます利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
5 to 6	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	5 to 6
	i. 文脈や意図に適した組織的構造の使用に優れている	i. 文脈と意図に応じた組織的構造を適切に利用する	i. 文脈と意図に応じた組織的構造を適切に利用する	i. 文脈と意図に応じた組織的構造を適切に使用する	
	ii. 互いの考えを踏まえながら、意見や考えを論理的な方法で整理する	ii. 互いの考えを踏まえながら、意見や考えを一貫性のある論理的な方法で整理する	ii. 互いの考えを踏まえながら、意見や考えを一貫性のある論理的な方法で整理する	ii. 互いの考えを踏まえながら、意見や考えを一貫性のある論理的な方法で整理する	
	iii. 執筆のフォーマットの利用に優れ、文脈や意図に適した体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットを適切に利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットを適切に利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットを適切に利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
7 to 8	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	7 to 8
	i. 文脈や意図に効果的な組織的構造を、高度な方法で使用する	i. 文脈と意図に効果的に応じた組織的構造を、高度な方法で利用	i. 文脈と意図に効果的に応じた組織的構造を、高度な方法で利用	i. 文脈と意図に効果的に応じた組織的構造を、高度な方法で使用	
	ii. 互いの考えを高度に踏まえながら、意見や考えを論理的な方法で効果的に整理する	ii. 互いの考えを高度に踏まえながら、意見や考えを一貫性のある論理的な方法で効果的に整理する	ii. 互いの考えを高度に踏まえながら、意見や考えを一貫性のある論理的な方法で効果的に整理する	ii. 互いの考えを高度に踏まえながら、意見や考えを持続的で一貫性のある、論理的な方法で効果的に整理する	
	iii. 執筆のフォーマットの利用にきわめて優れ、効果的な体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットを優れた方法で利用して、効果的な体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットを優れた方法で利用して、効果的な体裁を作成する	iii. 執筆のフォーマットを優れた方法で利用して、効果的な体裁を作成する	

Criterion C Producing Text 創作

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
1 to 2	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	1 to 2
	i. 創造的プロセスへの限定的な個人的関わりを示すテキストを創作する。考えや想像力は限定的で、新しいものの見方や考え方は	i. 創造的プロセスへの限定的な個人的関わりを示すテキストを創作する。思考、想像力、感受性は限定的で、新しいものの見方は	i. 創造的プロセスへの限定的な個人的関わりを示すテキストを創作する。思考、想像力、感受性は限定的で、新しいものの見方は	i. 創造的プロセスへの限定的な個人的関わりを示すテキストを創作する。洞察、想像力、感受性は限定的で、新しいものの見方は	
	ii. 言語的、文学的、視覚的表現に関するスタイル(文体)の選択は最小限にとどまり、受け手に	ii. 言語的、文学的、視覚的表現に関するスタイル(文体)の選択は最小限にとどまり、受け手に	ii. 言語的、文学的、視覚的表現に関するスタイル(文体)の選択は最小限にとどまり、受け手に	ii. 言語的、文学的、視覚的表現に関するスタイル(文体)の選択は最小限にとどまり、受け手に	
	iii. 考えを裏づけるために選ぶ関連	iii. アイデアを発展させるために、	iii. アイデアを発展させるために、	iii. アイデアを発展させるために、	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
3 to 4	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	3 to 4
	i. 創造的プロセスへのまずまずの個人的関わりを示すテキストを創作する。ある程度を考えや想像力を示し、新しいものの見方や考え方をある程度探究している	i. 創造的プロセスへのまずまずの個人的関わりを示すテキストを創作する。ある程度の思考、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアのさらなる程度の	i. 創造的プロセスへのまずまずの個人的関わりを示すテキストを創作する。ある程度の思考、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアのさらなる程度の	i. 創造的プロセスへのまずまずの個人的関わりを示すテキストを創作する。ある程度の洞察、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアのさらなる程度の	
	ii. 言語的、文学的、視覚的表現に関してスタイル(文体)の選択はある程度行い、受け手に与える	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響へのまずまずの認識を示す	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響へのまずまずの認識を示す	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響をまずまず認識したある程度	
	iii. 考えを裏づけるために、関連する詳細と例をいくつか選ぶ	iii. アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例がある	iii. アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例がある	iii. アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例がある	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
5 to 6	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	5 to 6
	i. 創造的プロセスへの内容のある個人的関わりを示すテキストを創作する。内容のある考えや想像力を示し、新しいものの見方や考え方について内容のさらなる探	i. 創造的プロセスへのかなりの個人的関わりを示すテキストを創作する。多くの思考、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアの内容のさらなる探	i. 創造的プロセスへのかなりの個人的関わりを示すテキストを創作する。多くの思考、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアの内容のさらなる探	i. 創造的プロセスへのかなりの個人的関わりを示すテキストを創作する。かなりの量の洞察、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアの内容のさらなる探	
	ii. 言語的、文学的、視覚的表現に関して十分に考慮されたスタイル(文体)を選択し、受け手に	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響へのまずまずの認識を示す考	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響へのまずまずの認識を示す考	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響を十分に認識した、考え抜い	
	iii. 考えを裏づけるために、関連する詳細と例を十分に選ぶ	iii. アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例を十分	iii. アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例を十分	iii. アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例を十分	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
7 to 8	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	7 to 8
	i. 創造的プロセスへの高度な個人的関わりを示すテキストを創作する。高度な考えや想像力を示し、新しいものの見方や考え方について鋭い探究がなされている	i. 創造的プロセスへの高度な個人的関わりを示すテキストを創作する。高度な思考、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアへの鋭い探究および考察を示す	i. 創造的プロセスへの高度な個人的関わりを示すテキストを創作する。高度な思考、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアへの鋭い探究および考察を示す	i. 創造的プロセスへの高度な個人的関わりを示すテキストを創作する。高度な洞察、想像力、感受性と、新しいものの見方やアイデアへの鋭い探究や批判的な振り返りを示す	
	ii. 言語的、文学的、視覚的表現に関して賢明なスタイル(文体)を選択し、受け手に与える影響	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響への明確な認識を示す賢明な	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響への明確な認識を示す賢明な	ii. 言語的、文学的、視覚的表現の観点から、受け手に与える影響の十分な認識を示す賢明な	
	iii. 考えを裏づけるために、関連する詳細と例を豊富に選ぶ	iii. アイデアを的確に発展させるために、関連する詳細情報と実例	iii. アイデアを的確に発展させるために、関連する詳細情報と実例	iii. アイデアを的確に発展させるために、関連する詳細情報と実例	

Criterion D Using Language 言語の使用

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
1 to 2	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	1 to 2
	i. 適切な語彙および表現形式を限	i. 適切な語彙および表現形式を限	i. 適切な語彙および表現形式を限	i. 適切な語彙および表現形式を限	
	ii. 文脈や意図に応じていない、不適切な言語使用域(レジスター)	ii. 文脈や意図に応じていない、不適切な言語使用域(レジスター)	ii. 文脈や意図に応じていない、不適切な言語使用域(レジスター)	ii. 文脈や意図に応じていない、不適切な言語使用域(レジスター)	
	iii. 文法、統語法、句読法の正確な使用が限定的である。誤用によってしばしばコミュニケーション	iii. 文法、統語法、句読法の正確な使用が限定的である。誤用によってしばしばコミュニケーション	iii. 文法、統語法、句読法の正確な使用が限定的である。誤用によってしばしばコミュニケーション	iii. 文法、統語法、句読法の正確な使用が限定的である。誤用によってしばしばコミュニケーション	
	iv. 綴り/書く、発音する際の正確さが限定的である。誤用によ	iv. 綴り、書き、発音する場合の正確さが限定的である。誤用によ	iv. 綴り、書き、発音する場合の正確さが限定的である。誤用によ	iv. 綴り、書き、発音する場合の正確さが限定的である。誤用によ	
	v. 非言語的コミュニケーション技法の利用が限定的または不適切	v. 非言語的コミュニケーション技法の利用が限定的または不適切	v. 非言語的コミュニケーション技法の利用が限定的または不適切	v. 非言語的コミュニケーション技法の利用が限定的または不適切	

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
3 to 4	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	3 to 4
	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	
	ii. 時々、文脈や意図に応じた言語使用域(レジスター)とスタイル	ii. 時々、文脈や意図に応じた言語使用域(レジスター)とスタイル	ii. 時々、文脈や意図に応じた言語使用域(レジスター)とスタイル	ii. 時々、文脈や意図に応じた言語使用域(レジスター)とスタイル	
	iii. 文法、統語法、句読法をある程度正確に使用する。誤用によって時々コミュニケーションが妨	iii. 文法、統語法、句読法をある程度正確に用いる。誤用によって時々コミュニケーションが妨	iii. 文法、統語法、句読法をある程度正確に用いる。誤用によって時々コミュニケーションが妨	iii. 文法、統語法、句読法をある程度正確に用いる。誤用によって時々コミュニケーションが妨	
	iv. ある程度の正確さをもって綴り/書く、発音する。誤用によ	iv. ある程度正確に綴り、書き、発音する。誤用によって時々コミ	iv. ある程度正確に綴り、書き、発音する。誤用によって時々コミ	iv. ある程度正確に綴り、書き、発音する。誤用によって時々コミ	
	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
5 to 6	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	5 to 6
	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	
	ii. 文脈や意図に応じた言語使用域(レジスター)とスタイル(文	ii. 文脈や意図に応じた言語使用域(レジスター)とスタイル(文	ii. 文脈や意図に応じた言語使用域(レジスター)とスタイル(文	ii. 文脈や意図に応じた言語使用域(レジスター)とスタイル(文	
	iii. 文法、統語法、句読法をかなりの程度正確に使用する。誤用によってコミュニケーションが妨	iii. 文法、統語法、句読法をかなりの程度正確に用いる。誤用によってコミュニケーションが妨	iii. 文法、統語法、句読法をかなりの程度正確に用いる。誤用によってコミュニケーションが妨	iii. 文法、統語法、句読法をかなりの程度正確に用いる。誤用によってコミュニケーションが妨	
	iv. かなりの程度の正確さをもって綴り/書く、発音する。誤用に	iv. かなりの程度正確に綴り、書き、発音する。誤用によってコミ	iv. かなりの程度正確に綴り、書き、発音する。誤用によってコミ	iv. かなりの程度正確に綴り、書き、発音する。誤用によってコミ	
	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
7 to 8	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	7 to 8
	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	i. 適切な語彙、構文、表現形式を	
	ii. 文脈や意図に応じた、常に適切な言語使用域(レジスター)と	ii. 文脈や意図に応じた、常に適切な言語使用域(レジスター)と	ii. 文脈や意図に応じた、常に適切な言語使用域(レジスター)と	ii. 文脈や意図に応じた、常に適切な言語使用域(レジスター)と	
	iii. 文法、統語法、句読法を高度な正確さで使用。誤用は少なく、コミュニケーションは効果的	iii. 文法、統語法、句読法を高度な正確さで用いる。誤用が少なく、コミュニケーションは効果的	iii. 文法、統語法、句読法を高度な正確さで用いる。誤用が少なく、コミュニケーションは効果的	iii. 文法、統語法、句読法を高度な正確さで用いる。誤用が少なく、コミュニケーションは効果的	
	iv. 高度な正確さをもって綴り/書く、発音する。誤用は少なく、	iv. 高度な正確さで綴り、書き、発音する。誤用が少なく、コミュ	iv. 高度な正確さで綴り、書き、発音する。誤用が少なく、コミュ	iv. 高度な正確さで綴り、書き、発音する。誤用が少なく、コミュ	
	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	v. 適切な非言語的コミュニケーション	